

「未来をつなぐ若者たちへ！」
～ひろしま森づくり啓発事業～
森林環境教育をフロデュース
理事長：山本恵由美



森づくりピア・エデュケーター研修会：武田山にて

3月7日（日）に「ひろしま森づくり普及啓発事業」の一環として、大学生を対象に企画をした「森づくりピア・エデュケーター研修会」を広島経済大学にて実施しました。

大学生には、社会に出る前に是非これだけは学んでおいてほしいと思う事がある。それは人々の日常生活と自然環境との関係性。そこに息づく動植物をはじめ、地域の人々の暮らし等々の多様さに支えられ、生かされていることに気づくこと。入口としては命の源と言って過言ではない「森林」を切り口に、様々な体験活動をとおして、保全の重要性を理解し関心を高めること。その上で地球規模の視点で問題や課題を見つけ出し、持続可能な社会づくりを考察する。そしてそこから育まれた力を、今度

は『伝える力』として伝道者となるよう、その成長を心から願っています。

今回の企画を思い立ったのは、大学に隣接する「武田山」を舞台に、実際に活動している大学生が年に一度、地域の子どもたちを森に招待して遊んでいる事を聞き、少々手厳しいが「ただ楽しむだけのレクリエーションでいいのか？」と、抜本的にプランの見直しを提案したかったから。

テーマは『見つけよう、私たちの森づくり活動』。自然・森に関わることは責任が伴うという事や守り伝える役目がある事を再認識してもらい、学生相互の学び合いと集団を指導するための基礎的な技術を習得する事を目的にしました。一日のプログラムを実際に参加者となって楽しく段階的に理解が深まることを体感していく手法をとり、最後にグループの「目的の再チェック」から「企画づくりのプロセス」までを伝え、研修を修了しました。

後日、受講した学生が『地域資源である「武田山」の魅力を発信し、その保全や活用を通じて「まち」の活性化を図る』という3ヶ年計画書を作成し、倶楽部の例会にも参加して本気度を見せてくれました。

情熱は必ず未来に繋がって行く！と確信。喜びを噛みしめています。